

NTT労組・退職者の会 大阪支部協会報

2002-5号(通算27号)2003年8月15日

NTT労組退職者の会・大阪支部協議会
発行責任者 鷲谷 憲
編集責任者 小林 保
〒553-0003
大阪市福島区福島3丁目1-73 コミュニティプラザ大阪内
Tel. (06)6451-8100
Fax. (06)6344-9382

提河泉

紙面より

森林は雨を蓄える緑のダム.....	2頁
今年も元気に歩きました.....	2頁
会員のひろるば.....	2頁
5周年記念バスツアー.....	3頁
ハイキング・社会見学案内.....	3頁
カラオケ・ゴルフ案内.....	3頁
囲碁大会結果.....	3頁
大阪総支部だより.....	3頁
各ブロックだより.....	4頁

美しく健康、生涯いきいき

ながりを
的参加
として淡
輪「愛の
家」のつ
な



しかし、近畿社会福祉事業団事務局長の永田さんから提起された「企業・労組・施設・社協に必要な相互理解」ボランティア活動に取り組むにあたって「十分討論できなかったのは少し残念で、今後の課題です。地域との連携の立場から、あいハート須磨へは兵庫県支部協が積極的に参加され

百聞は一見に如かず 古布 充
学習会の実施場所をなぜ遠い愛の家にしたのか？ 新しく担当になったブロックのボランティア担当委員さんに愛の家の実情をさらに理解していただく意味からでした。淡輪は少し遠いですが、入居者と一体となりながらの学習会は「百聞は一見に如かず」の諺とおりの成果があったものと思います。

支部協ボランティア担当

あの阪神・淡路大震災からおおきく広がってきたボランティア活動、退職者の会員も個々人としては、地域でまた、サークル仲間と活動されている人は多くおられます。しかし退職者の会という組織としてのボランティア活動はどうあるべきなのか、ボランティア活動は本来地域と結びついた個々の活動であって組織的な活動は難しいのではないかと。しかし、幸いにもNTT労組近畿地方には自分たちの手で作り上げてきた「愛の家」「あいハート須磨」がある。これを中心とした活動に参加してもらいながら、その経験を地域で生かしてもらうことがいいのではないかなど試行錯誤の段階のなかで出発点として、各ブロックのボランティア担当者、愛の家でボランティア活動をしている泉州ブロックの人を対象に、六月六日、愛の家でボランティア学習会を開催しました。以下は企画をたてた支部協のボランティア担当と参加者の声を聞いて見ました。

ボランティア学習会を開催して

さらに発展、継続をしていきたいと願っています。
会員の皆さんも「ライフワーク」として居住地でさまざまなボランティア活動に参加されていると思いますが、愛の家にも同じ立場から今後ともよろしくご協力をお願いいたします。

特技を生かす場として楽しめるボランティアを 大串子工

福祉担当として何から動き出そうかと考えた時、大阪支部協の取組として毎年皆さんに「愛のカンパ」をお願いし社会福祉事業団を通して役立ててもらっています淡輪の「愛の家」において体験とともに学習を深め考え方の統一が図れたらと「愛の家」での学習を企画し、社会福祉事業団の永田事務局長、愛の家の伊藤施設長からお話を聞きました。二十五、六名の受講者で十分な議論は尽くせなかったかも知れませんが、ボランティアに対する心構えが楽になったように感じました。

住んでいる地域にも自分を生かす立場はいくらでもあると思うのですが、少しの時間でも楽しく自分の特技を発揮でき、そのことが何かに役立つとしたら最高のボランティアと学びました。

今後の活動にどうつながるか

木村 敏子

支部協におけるボランティア活動をどうあるべきかについて何かを得れたらと思いながら各ブロックの担当者二十五名に愛の家に集まってもらい学習会を開催しました。愛の家の沿革と現状、そして将来展望について愛の家の施設長の伊藤さんから説明があり、近畿社会福祉事業団の永田事務局長からはボランティア活動のありかたにあたって、企業、労組、個人、ボランティアが相互理解も大切であるとお話があった。これをどう今後の活動につなげていくかが課題であり、支部協のなかで相談していきたいと思っています。

各ブロックボランティア担当

グループホームの一員となれる日を念じて

北摂ブロック 前中 良介

南海淡輪駅から初夏の日差しを浴びながら歩くこと一〇分、愛の家集会所に到着、私にとってボランティア学習会は初めての経験でもありちよびり緊張を抱きながらの参加です。

施設利用者たちの賑やかな雰囲気のおかげで始まった学習会、伊藤施設長から現状の問題点と今後の課題についてお話があり、特に利用者の将来については「企業就労の困難性・高齢化」が当面の課題であり近い将来「グループホームの創設」が必要不可欠であると力説され認識を新たにしたところです。

昼食後は参加者全員でグラウンドの草刈、手ごわい雑草と対峙しながら、利用者の皆さんもこのように強く逞しく、そして全員がグループホームの一員となれる日を念じつつ愛の家を後にしました。

大きな生甲斐を貰って帰れる

泉州ブロック 細杖 純子

退職者共済・支部協会費の納入はお済みですか

退職者共済の契約更新と、退職者の会の大阪支部協議会年会費二四〇〇円の納入の請求を七月二二日に左記封筒(窓空きの薄緑色)で送付しています。納入期は八月一日です。まだであれば早急に納入願います。万一届いていない方は支部協まで連絡ください。

〒〇六-六四五一-八一〇〇

なお、共済契約更新の用紙の一枚目の(支部用)は変更の有無にかかわらず返信用封筒(ピンク色)で送付願います。

会費 宛先	お元気でですか。 退職者共済の契約更新のお知らせです。
会費 宛先	2003 火災共済「すまいる」・自然災害共済「おまかせ」 退職者生命共済「あいあい」・交通災害共済 申込書在中
会費 宛先	●お金のお振り込みは、お早めにお願ひします。 ●お振込みの間違いと誤りがないようにはお気を付けてお振込みください。
会費 宛先	お問い合わせは支部協議会へ 〒553-0003 大阪府福島区福島4-1-73 こくよこビル2F NTT労組組合大阪総支部 TEL 06-6451-8100
会費 宛先	情報管理本部 NTT労組中央本部 NTT労組退職者の会 労組共済本部 電話共済生協

私は「愛の家」の作業奉仕にかかわって一年になる。あまりにも微力なのでボランティアといえるかどうか分からないので受講した。
広い園内の敷地には、除草剤は使えない。懸命に草引きをしても、次に来た時にはまた元に戻っている。無限に近い大きいものに対抗する力なさを感じていたが、今回の学習会では、そんな気持ちへの安定剤になったような気がする。

これからは、園児の笑顔に出会えるのも清涼剤になると思うし何よりも大きな生甲斐を貰って帰れると思っている。

ボランティアについて理解を深め合う

河内ブロック 木下 啓

愛の家で開催された大阪支部協議会主催のボランティア学習会は、伊藤愛の家施設長から、知的障害者総合福祉施設としてのありかたと、将来少子化と高齢化、施設から地域への流れ、グループホームの創設

そして施設運営などについて話を聞かせてもらいました。永田事務局長から、事業団の内容と、ボランティアについての問題提起をうけて、参加者による討論をし個々が考えている、ボランティアについて理解を深めました。

昼食は園児と同じく、セルフで個々がとり、いただきましたが大変おいしかったです。食後は暑い中で中庭の草刈を実施し、いい汗をかき気持ちよく帰宅することができました。

一人一人がどんな事が出来るのかをにわブロック 大橋 康子

退職者の会大阪支部協議会の中でどんなボランティア活動が出来るのだろうか担当者の一人として参加しました。一人一人がどんな事が出来るのか、そしてやはり地域に密着した活動のあり方が必要なのは、自分に何が出来たのか、体力、根気もいる事を痛感いたしました。

今年も元気に歩きました ウォークラリー記録

今年5月に実施したウォークラリー月間記録を送付されたのは213名です。毎年のように感想文も多数寄せられています。そのなかから川柳(千柳)俳句での感想を紹介いたします。

記録ベストテン 1位8277km 2位6767km 3位4524km
4位3939km 5位3864km 6位3537km 7位3301km
8位3267km 9位3232km 10位3165km

参加者最高年齢者 87歳

記録を争いません来年も無理をせずにご参加を。
(感想文抜粋)

千柳・万柳 覚えておられますか、前号でイラク戦争の1通の便を投稿された河野 勝二さんです。

メーデーは マイクに代えて 万歩計

憲法を守り暮らしも健康も 古来まだ七十一は 第一歩
追いかける 孫(こ)に追いつかぬ 年となり 幾万歩
雨の日も外出したい 万歩計 ハイキング 雨で流れて
わらび餅の 売り声足を 早めさせ
千歩計に してはならない万歩計

歩いていると今更に見えてきた目のまわりの光景が、手にとるようには見えてき
ました。私なりに俳句を詠むようにしたところ、散歩中に1句1句が詠めてくるよな
になりました。 長田 正敏さん

苗代や 雲を逆さに 大鏡
サクランボ 踏まれて路(みち)に 染(しみ)残り
高架下 土鳩集まって 夏が開(あ)く
雨近し 地面こするや 燕二羽
夏めくや 雲湧き上がる 胸のやう



緑のダムといきいき講座の講師NPO自然と緑の会の石原さんは説明された。「また森林は二酸化炭素を吸収し、

森林は雨を貯える緑のダム

連合の森ボランティアに参加して 山 誼数

古代ギリシアの哲学者タレスは、すべてが水から生まれ水に還っていく、と宇宙の原理を説明した。目も耳も不自由なベレンケラーが最初に発した言葉が「水」だった。彼女は水を通して世界を発見した。日常不可欠で、しかも深遠な存在、水である。(天声人語から引用)

「水」その水を貯えているのは海や川でない、「森林は降った雨を貯える緑のダム」といきいき講座の講師NPO自然と緑の会の石原さんは説明された。「また森林は二酸化炭素を吸収し、

酸素を放出、酸素を貯えた幹は木材に利用され、また山崩れを防ぐ。そして多くの動物のすみかとなり、人にうるおいとやすらぎを与える」と大阪箕面国有林勝尾寺園地の入り口の看板に記されている。

その勝尾寺園地の一角にある「連合の森」のボランティアに五月二四日、連合高齢退職者の会(略称高退連)の要請で北摂ブロックの有志六名が参加した。総勢七〇名余若い世代の者は間伐に、私たち高退連の仲間は草刈に参加した。指導と援助役はNPO法人「自然と緑」の仲間と全林野労組の仲間である。昼食後は間伐した木材を使つてのクラフト作りと「樹木博士になろう」という実際に樹木を見ながら説明を受けたあと、二〇種類の小枝を見て樹木名を回答するという班に分かれて楽しんだ。

このボランティアは毎年初夏と秋に行われるとか。一度参加して見ませんか。

会員のひろば

58年ぶりの同窓会 香呂トシ子

戦時中疎開先の小学校で一年間お世話になり昭和二十一年に卒業、その後父の復員を待ち、父と二人で大阪に戻り尼崎の中学校に途中入学、卒業後電電公社に入社。
あれから五八年の歳月がたちました。振り返れば田舎の学校は都会から来た私にとつて何かにつけ初体験のことばかり、田んぼの中で蛙に吸いつかれべそをかいている私を先生が可笑想と思われ、その後一度も田に入ることなくその都度見学していた私をクラス的女生徒全員から白い目で見られ、今でいうイ

支部協会員の中には、いろんな方面で活動されている人も多はず、会員の広場も投稿を待つてなく、そんな人にインタビューを試みようと思ってみました。その第一号が上田美江さんです。

学んだ経験を生かすために

上田さんは大阪市外に二〇年、茨木の情報案内に二〇年、三人の子供を育てながらの共働き主人もNPTで四〇年勤務し、勤務中の一九八二年、大阪府主催の「婦人問題アドバイザー講座」受講をきっかけに、女性史労働権問題などを学び、女性の人権について目覚めた経験を生かし、退職金を女性のために役立てようと、一九九六年借家身近な男性の暴力から避難してくる女性とその子供が安心できる施設、関西初の民間駆け込みシェルター「スペースえんじよ」を開設されました。

ジメのような目に遭っていました。ただ一つの救いは担任の先生が私を庇い優しくしていただいた事は、今でも記憶にはつきりと残っています。

時を経てその思いを胸に秘め今までに何度か同窓会の案内状が届きながらも勤めがあり、また主人の看護等色々事情が重なり一度も出席することなく自然に同窓会の事など忘れていたところ突然案内状が届きびっくりしました。内容は七〇歳の古希を祝い芦原温泉一泊旅行の計画で二日間貸し切りバスで福井県の各名所(世界のガラス館、吉崎御坊、丸岡城、越前竹人形の里、羽二重餅の里等々)の見学も取り入れられ夜は楽しい同窓会大宴会とあり、是非出席をお待ちしておりますとの事、でもはたしてクラスメイトの

恵まれた労働条件に感謝

NPT在中は全電通のおかげで労働条件が確保され、泊まり明け勤務や、短時間社員制、育児休暇制など時間的にも余裕が持てたおかげで、勤務しながらも勉強が出来たことを感謝していますと上田さんは語られました。

駆け込みシェルターとは

あなたは、駆け込みシェルターをご存じですか、家族からの、特に夫からの暴力の被害にあっている女性に対し「配偶者からの暴力は犯罪」というドメスティック・バイオレンス(DV)防止法が施工されたのは二〇〇一年一月です。上田さんが開設した一九九六年はまだそんな法律もなく、家庭内暴力から何とか逃避したい、夫から隠れたいという人をかばうための施設なのです。当然夫に知られてはいけません。またよし知られても夫の暴力から守らねばならない設備も必要です。今の施設のドアは四重ロックとのこと。

まだまだ男の世界

DV法が出来たといつても、まだまだ男優位の世界ですね。被害者の夫は会社の部長とか、外ではいい人だといわれる人も多いのです。しかし、家ではビールが冷えていなかったなどという一寸したことがきっかけで暴力を振るう、そして、妻が夫に従うのは当然じゃないか、妻の教育がなっていないから、腕力ですつけるのがなぜ悪い、わしも親父にはよく殴られたもんだ、などと被害者の夫はいますね。話は違いますが、このごろの雑誌でも、女性の裸の写真なども多く掲載されていますが、女性をまだまだ商品としてみている人がいますと上田さんは語られました。

経済的には赤字財政

現在のシェルター「スペース援助」は四LDKで四重ロックのドア、個室ベッド、家電、空調、床暖房、公衆電話、ルーフバルコニーの施設で、五〇年契約、五〇年後には更地にする条件付きで二五〇〇万円で購入したとのこと、資金は夫の退職金といわれていました。この他スラップハウス(長期滞在施設)二カ所を契約し、定員はスラップハウスを合

め一〇名です。財源は宿泊大人一五〇〇円、子供五〇〇円の利用料金と、府県からの保護委託費、寄付、カンパ、賛助会員(一口五〇〇〇円)シンボ報告集売上金などですが持ち出しばかりですとのこと。

活動内容は生活自立支援など

スタッフはサポーター三名、ボランティア数名で、活動内容はメンタルケア、相談アドバイス、カウンセリング、自立後のアフタケア、また生活自立支援として弁護士、福祉警察、国民健康保険課、学校、病院、住宅探しなどの付き添いなどを行われ、現在までの入居者は延べ二八八名だそうです。

二〇〇二年大阪弁護士会「人権賞」二〇〇三年国際ソロプチミスト「女性性が女性を授ける賞」受賞

上田さんはこの活動で人権賞など受賞されましたが、副賞の賞金がありがたがたと微笑んでいました。

まだまだお伝えしたいことは多いのですが、またの機会にご紹介いたします。なお、寄付など質問があれば支部協にお問い合わせください。

愛のカンパ

ありがたございました

本年度の愛のカンパは671名の方から99万円のご寄付をいただきました。全通近畿社会福祉事業団に寄贈いたしました。お礼申し上げます。

状態でした。今回感じた事は何名かの方が食事制限されたり、また何種類かの薬を服用されながらの出席に、健康をつくづく大事な事だと痛感し二年後の再会を楽しみに北陸路を後にしました。

最後に前回まで出席されておられた担任の三田村先生が昨年亡くなられたと聞きお礼の言葉を言えず後悔しております。先生のご冥福を心からお祈りします。

顔、名前が思い出せるか心配と不安ですぐには決心がつかず二、三日考えた末元氣な時に皆に会わないと、また何時会えるのかとの思いから世話役の方に出席する旨連絡、折り返し往復の時刻表を調べて下さりハガキが届き胸が熱くなりました。当日武生の駅に降りました。再会の瞬間心配、不安等消え去り皆さん覚えていて下さったんです。嬉しさと懐かしさで目が潤みました。

夜の宴会もずいぶん盛り上がり男性七〇歳のパワーには圧倒されど、最後は全員で校歌合唱でひとまずお開きに、後は朝まで自由行動。部屋に戻ってから、時のたつのを忘れ色々と言話に夢中になりほとんども寝ずに朝を迎えました。さすがに二日目は皆さん少々バテ気味の

支部協結成 5周年記念バスツアー

どの部屋からも、露天風呂からも富士山の見える河口湖温泉の旅館、もちろん食事も満足行くと思います。

昼食・夕食・朝食・昼食の計4食です。

1日目昼食は浜名湖のうなぎ釜飯

2日目はホテルで中華料理です。

バス内および夕食の宴会時に出します。

清潔な水洗トイレ、洗面所、通信カラオケ付きのスイ

パーハイデッカ40人乗りです。

忍野八海散策 霊峰富士の胎内より湧き出る八つの泉で、淡い藍色のブルーと明るいエメラルドグリーン。光のグラデーションを交差させた神秘的な輝きが訪れる人を魅了させます。



旅 館

食 事

飲み物

バス

観 光

富士山&河口湖&忍野八海

この他白糸の滝散策、ワイナリー見学・試飲、また車窓より本栖湖、精進湖、西湖、勝沼などの丘を見学します。

会 費 22,000 円 (同伴者も同額)

旅行日 10月1日(水) 2日(木)

午前8時集合厳守

定 員 160名 (先着順)

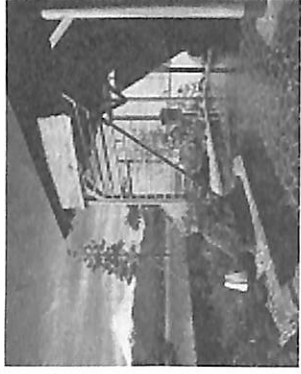
集合場所 JR大阪城公園駅

申し込み 9月3日(水)

午後4時までに支部協へ電話で

☎06-6451-8100

詳細案内及び会費振込用紙は別途送付いたします。



(河内ブロックがお世話します)

森の中に揺れる星のブランコを訪ねて

秋のハイキング

9月11日(木) 集合午前10時

行く先 大阪府民の森 ほした園

集合場所 京阪交野線 私市駅 改札出た所

行き方

JR学園都市線 京橋9時24分発快速木津行き→河内磐船駅→徒歩5分→京阪交野線河内森駅→私市【河内森駅時刻 9時46分、9時57分】

京阪電車京橋駅→枚方駅交野線乗り換え→私市

【京橋駅時刻 8時56分、9時2分、9時11分】

運 賃 京阪京橋駅より 340 円 JR京橋駅より 440 円

出発時間 午前10時20分。

参加賞 缶ビール360ml ウーロン茶 各1本

コース 私市駅→山道に入り→水車小屋(小休止)→ピトンの小屋(休憩20分、トイレ有り)→吊り橋星のプランコ→やまびこ広場で昼食(トイレ有り)昼食後自由解散(全長280mスリル満点)

各自用意する物 弁当・水筒・雨具・歩きやすい靴(ウォーキングシューズが最適)

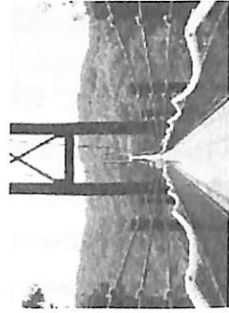
雨天の場合 当日午前6時の天気予報で降水(確率40%以上の時は中止)

申し込み 9月3日 午後4時までに

支部協へ電話で ☎06-6451-8100

当日の連絡先 田中 康夫☎090-3941-6251

香呂トシ子☎090-7104-8878



(泉州ブロックがお世話します)

岸和田の資料館巡りと五風荘での昼食 9月5日(金) 午前9時30分集合

自然資料館→郷土資料館(岸和田城)→五風荘

(昼食)→だんじり会館→天性寺(蛸地蔵)約3km

集合場所 南海岸和田駅中央出口

定 員 50名 (先着順)

会 費 2,000円 (昼食代)

申し込み 8月25日午後4時までに支部協へ電話で ☎06-6451-8100

雨天決行 会費は別途振込用紙を送付



第2回カラオケ大会

4月30日(水) 午後1時~5時

集合場所 南海岸和田駅東側(山手)出口 専用バスで送迎

集合時間 午後0時40分

場 所 カラオケスタジオ“F” ☎0724-39-5015

費 用 飲食等は各自負担

申し込み 8月25日までに支部協へ電話で ☎06-6451-8100

定 員 25名まで (先着順)



水上バス(貸切)で川下り 余裕があります

前号でもお知らせしました水上バス(貸切)での川下り(乗船時間約1時間) まだ定員に余裕がありますのでお申し込みください

8月27日(水) 18時乗船 参加費2,000円

集合場所 JR大阪城公園駅17時30分

定員80名 8月22日(金)までに支部協へ電話で☎06-6451-8100

第10回 囲碁大会

栄冠は 野原 博(Aクラス)

田中清志(Bクラス)

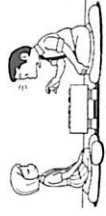
囲碁サークルの第10回大会は6月27日午前10時からコンボ退職者サロ

ンで24名が参加し熱戦の結果

野原博氏(Aクラス)、田中清志氏(Bクラス)が優勝

Aクラス2位 伊藤 熱臣氏、3位 佐藤智三氏、

Bクラス2位 井口 義久氏、3位 森川利三郎氏でした



第45回ノースリバーゴルフコンペ

9月26日(金) スタート9時31分

OUT・IN同時スタート

受付人員 12組 先着48名

場 所 太平洋クラブ宝塚コース

宝塚市芝辻新田字広芝花折7-2 ☎0797-91-1118

乗用カート、キャディ付き ゴルフシューズすべて可

参加費 3,000円 プレー費約14,000円税別(昼食売店等別)

申し込み締め切り 8月20日(水) 午後4時までに大阪支部協へ

電話で☎06-6451-8100



大阪総支部だより

総支部活動の二年目がスタート

七月一日・二日に東京厚生年金会館にて第六回全国大会が、七月八日・九日には愛媛県民文化会館で第六回西日本本部大会が開催されました。そして、七月九日には、大阪総支部の大会を無事おえることができました。

それぞれの大会での各分会・職場の多くの意見は、①年々切り下げられつつある「特別手当」に対する不満と業績評価の個人反映にあたり「公平性・透明性・納得性」を求める要望、②N T T企業年金見直しに伴う責任ある対応を求める、③N T Tグループの一体的運営をさらに強固に推進する事、④組織拡大にむけた具体的対処方針は。等の発言が出されました。

そして、総支部大会での赤本執行委員長あいさつは、今春の統一自治体選挙での組織内議員全員当選への原動力となった「退職者の会」のみなさんへのお礼と今後の選挙では、組織型から後援会型選挙への切り替えが課題となることから、地域での組合員と退職者の会会員のさらなる協力を訴えた。また、今春の統一自治体選挙を後進にバトンをわたした東田保前大阪府議会議員の四四年間におよぶ議員活動と功績に対する感謝決議が採択され、代議員・傍聴者からの万来の拍手がおくられました。永年活動表彰では、総支部職員「山本秀子」さんが三〇年、メイト和歌山分会長「小林茂」さんの二〇年の活動に対する表彰授与式が行なわれました。

大阪総支部のむこう一年間の活動方針は、昨年の結成大会で決定した方針の二年目をむかえての補強を行なうとともに、①総支部と組合員の距離を縮めるとともに信頼される身近な組織としての役割を果たす②N T T西会社の「安定した黒字」による労働条件の維持をめざす③「平和」の追求を継続してとりくむ④解散・総選挙と明年の参議院選挙の組織内議員の必勝。を満場一致確認し、新年度の活動のスタートを切りました。

とりわけ、「N T T労組退職者の会大阪支部協議会」の協力なくして、「現・退一致」の活動は成り立ちません。今後とも大阪総支部の活動に対するご進言とご協力をお願いいたします。

N T T労組大阪総支部 組織

なにわブロック

天神祭り納涼懇親会

7月25日、日本三大祭りのひとつ大阪の天神祭りに、なにわブロック納涼懇親会を開催しました。参加者は36名と予想を下回りましたが、コンポ大阪の7Fラウンジで、18時古布事務長の司会で幕を開けまし

た。始めは皆さんよそよそしい感じでしたが、ビールで喉を潤しご馳走に舌鼓して酔いが回ってくると、久しぶりの顔合わせに楽しい時を過ごすことが出来ました。19時頃から東の空に、ビルの合間から上がる花火に、天神祭りの雰囲気になってきました。参加者にはご夫婦同伴の方、浴衣姿の方ありで皆さん元気で熟年(コンポ大阪7階ラウンジにて)

パワーにあふれ、これからこのパワーをおおいに発揮して頑張ってもらいたいと思います。懇親会を通じて感じることがは、歳を重ねるに従い、



(福島天満宮境内)

一人でも多くの人々とお付き合いすることが若さを保つ秘訣であります。これから会員各位には、各種行事に積極的に参加され、人と交わる事をエキキスに元気に頑張りたいでしょう。

泉州ブロック

7月29日ブロック委員会を開き、これまでの取組を踏まえて、今後の進め方について整理をしました。以下の地域活動三本柱をメインにして、各種イベント・サークル等を積み上げていくこととします。

地域活動三本柱

1. 会員とのふれあい
会報「提河泉OB」の手配り
岸和田市・泉佐野市・貝塚市・泉南市・堺市・堺市北地域を拡大
2. 愛の家
訪問ボランティア・はつらつ農園ボランティア・
押花ボランティア
3. 暮らしを守る
中井くによし堺市会議員との連携
政治学習の開催

泉州ブロック「大懇親パーティー」

10月18日(土)
NTT堺ビルにて開催。別途往復ハガキでご案内します。

愛の家利用者とともにもじギャガイモ収穫祭

大小併せて約1400個ほどのジャガイモが取れました。わが子、わが孫に手取り足取り教えるように、利用者と一体となって嬌声をあげながら、同じ汗を流しました。どんな境遇にあっても「一生懸命生きていく」という実感がそこにありました。

収穫したジャガイモは即刻販売され、おとり、おそらく翌日の食堂メニューにもあがっていたことでしょう。「また今年ネ「ウン」で別れた、実りある一刻でした。



河内ブロック

観光バスでの四つの社会見学に参加して

落合 光雄

七月三日うつとうしい梅雨空のJ R 大阪城公園駅前から観光バスで見学先のキューピー伊丹工場に到着し、早速四階のPR室に迎えられPRガイドの方から会社の創設についての話や、工場内の製造工程の仕組みをビデオで勉強しました。

その後工場内の見学をPRガイドさんから詳しく説明を聞きながら製造ラインを見ていくとマヨネーズの材料のタマゴが団体でシャワーを浴び、ラインの上から割卵機(一分間で卵六百個割)で割れた卵は一個一個下の皿に落ち、白身と黄身とに分別され(黄身はマヨネーズ用)

パイプラインに送られ、それぞれの部門で製品化され検査後全国に出荷されています。見学の後おみやげを頂き、次の見学先「長寿蔵」へバス移動しビール、酒、豪華な料理で昼食を済まし白雪酒造の展示館資料の説明や酒造行程のビデオを鑑賞し、広い工場施設を見学後、新酒(原酒)の試飲、おいしく頂きました。

次に最後の見学地アサヒビール西宮工場へと行き、工場内の説明を聞き製造ラインは全てコンピュータにより制御され、洗瓶から箱詰め迄いろいろな工程を通り、市場に出荷され私たちの口へと見学も終わりビール試飲会を済ませ、玄関にて記念写真を撮り楽しく帰路につきました。

今回の工場見学バスツアーは勉強になりました。お世話頂いた役員の方や参加されたOBにお礼申し上げます。

北摂ブロック

二つの行事を実施しました

渡し舟ハイキング(6月5日)

総勢59名の参加がありました。
J R 桜島駅からスタートし、天保山渡船場から僅か4.5mの天保山へ渡り「登山証明書」を皆さんに交付しました。
そこから甚兵衛渡船場・千歳渡船場・船町渡船場を渡り継ぎ(約7キロの行程)楽しく過ごることが出来ました。
この渡船めぐりは、最近テレビ・ラジオで宣伝されています。



アサヒビール吹田工場見学(7月23日)

40名の参加を戴きました。先の河内ブロックで実施された「アサヒビール西宮工場」とはまた違った工場内を見学し、20分間の試飲会でもおもしろい飲み飲まれた方もあり、結構おみやげを買われました。

北摂ブロック懇親会の開催について

この10月で北摂ブロック発足1周年を迎えます。特にブロック毎の総会はいりません。久しく逢いたという会員さんもおられますので、親睦を深めるため懇親会をすることとしました。多くの会員さんの参加をお願いします。

日	時	場	所	費	参加申込
2003年10月4日(土)	14時~17時	コミュニティプラザ大阪6階鶴亀の間		3000円(当日集金)	
					9月5日までに 大阪支部協議会へ

【編集後記】

残暑お見舞い申し上げます。梅雨明けがずれて夏が少し遅れてやって来た感じがしました。

今月はボランティアの学習会に参加した皆さんの感想を寄稿していただきました。これからの退職者の会が取り組む方向を示唆しています。さらに「愛の家」に大きな協力を願いながら、会員全員にお配りする五周年記念の「押し花のしおり」を支部協のボランティア担当と女性会員を中心に制作に励んでいます。

上田美江さんのインタビューに同席しました。厳しく女性の人権問題に取り組む姿勢に感動しました。

政治情勢が流動的です。八月の「いきいき講座」は内藤議員のレクチャーです。年金問題も含めて楽しみです。イラク派遣の自衛隊。行き先は襲撃頻発地帯、どこも戦闘地域に「安全な場所」なんてあるのでしょうか。平和になった終戦のあの日を想います。

「立秋」は過ぎましたが、強い日差しは厳しい暑さにはたじろぐ程の思いです。お盆の数日はお楽しみでしたか。何時もは静かな語らいのお家もこの時だけは幼い子供の声もして賑やかです。高校野球の熱い感動も夏を華麗に彩ります。ロードのタイガースも今年には悠々です。月の終わりに頃は、入道雲、夕焼けに夏の郷愁を誘いながら秋の気配が漂い始めます。

例年八月は共済の契約更新月間です。お願いしている期日が迫っています。僅かな方です更改を忘れずにと願っています。事務局は更新書類の整理に追われながら総会の準備に入っています。